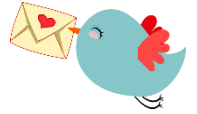


青木区長表敬訪問

初めまして 新3役の自己紹介



2025年 6月6日(金) 区長室

写真左から

雲野右子(副会長)・大前真理子(副会長)
齊藤眞澄(会長)・青木英二区長
宮城典子(事務局長)・岩佐富雄(副会長)

子育て終了後、ボランティア活動模索中に、誘われて日本語スタッフで目黒ユネスコ協会に入会。加藤玲子会長(日本ユネスコ協会連盟副会長)時代で、広報の編集や、青少年の夏のつどい立ち上げ(富士山麓キャンプ)、カンボジアスタディツアー参加など、目黒区のみならず、パリユネスコ本部まで視野にいた、平和活動について、学ぶ機会に恵まれた。全国大会主催(目黒パーシモンホール/2回)や、東京都ユネスコ連絡協議会主催の関東ブロック研究会(3回)の実行委員など、未知への冒険の旅だった。大勢の敬愛する先輩や仲間たちに感謝。様々な活動の絆から学んだこと、みんなの心を一つに笑顔でユネスコの平和活動に邁進し、次世代にそのバトンを繋げたい。 齊藤眞澄(会長)

日本語教授法の講座を受講したのを機に目黒ユネスコ協会に入会し、日本語スタッフに加えて頂きました。約20年前のことです。日本語教室、国際交流ひろば、語学講座などの活動を通して、新しい世界を見せて頂き、草の根の国際交流が平和への一歩になることを実感しました。これからも目黒ユネスコの活動に皆様楽しんで参加して頂けるように、微力ながら会長を支え、協力したいと思っています。 大前真理子(副会長)

フランス語クラスを受講したことがきっかけで目黒ユネスコ協会に入会し10年になります。これまで語学教室やユネスコ文化講座の企画運営を行う研修委員会に所属し、委員長も経験しました。仏語クラスでは世話人となり8年目、多種多様なバックグラウンドを持つ素敵な友に出逢えた事はかけがえのない宝です。会員の皆様、同じ志を持つメンバーとの交流を和気あいあいと楽しみながら、広く社会貢献できるよう尽力して参りたいと思います。 雲野右子(副会長)

現在、私は理科講師として板橋区内の小学校で働いております。職場の上司であった前事務局長の久富さんが、誘ってくださったのが目黒ユネスコ協会入会のきっかけです。支援委員長として書きそんじハガキ回収キャンペーンやサイエンス教室を中心に携わってきました。まだまだ分からないことだらけですが、少しでもお役に立てるよう努めて行きたいと思っております。

岩佐富雄(副会長)

入会のきっかけは目黒区報での目黒ユネスコ協会の語学講座です。また東京都ユネスコ2000人プロジェクト「心に平和の砦を築こうコンサート」での合唱で「We are the World」等を目黒以外のユネスコの方々と歌いました。新年会や文化講座、紹刺し講座、70周年記念コンサート等に参加し、現在は初級イタリア語講座の世話人や日本語講座のアシスタントをして、多くの方々からの学びに心から感謝し、世界平和を祈りたいと思います。

宮城典子(事務局長)

「ユネスコ★明治日本の産業革命遺産 軍艦島」 寄稿文



日本本土の最西端、九州の西北部に位置する長崎県。島の数 1,479 と日本一を誇り、透き通った海に囲まれた美しい島々には、自然や歴史、豊富な魚介類などの島のめぐみ、たくさんの魅力が詰まっています。長崎港から船で約 40 分のところに位置する端島（軍艦島の正式名称）、小さな海底炭坑の島は、岩礁の周りを埋め立てて造られた人工の島です。岸壁が島全体を囲い、高層鉄筋コンクリートが立ち並ぶその外観が軍艦「土佐」に似ていることから「軍艦島」と呼ばれるようになりました。最盛期の 1960 年には、たった 6ha の島に約 5300 人ものが住み日本一の人口密度を誇っていました。

この数ある島々の中で、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成遺産として 2015 年に世界文化遺産に登録された軍艦島（端島炭坑）を旅してきました。

明治期の産業革命期から、近代日本の発展を支え、最先端の技術と都市機能を併せ持つ炭鉱都市だった軍艦島も、国のエネルギー転換政策によりエネルギーの主力が石油へと変遷するにつれ衰退し、1974 年に炭鉱が閉山。全ての住民が島を去ると無人島となり、往年の繁栄を偲ばせる高層アパートや炭鉱施設などコンクリートの廃墟だけが残されています。

船上から見る現在の軍艦島はさながら巨大な幽霊船。近代日本を支えた産業とそこに生活した人々の歴史の 1 ページがここに確実にあり消えていった。正に、「夏草や兵どもが夢の跡」。

研修委員会 和田 広美

環境講演会 女性南極シェフが見た「食と地球の未来」

主催：エコライフめぐろ推進協会

日時：2025 年 6 月 28 日（土）会場：中目黒 GT プラザホール 13:30 開演

講師：渡貫淳子氏（第 57 次南極地域観測隊調理隊員）・他 参加：80 名

セミナーの講師は、一児の母でありながら、1 年 4 か月間、南極観測隊に参加し、全うされた渡貫淳子氏。時々笑いやクイズを交え、興味深い話にあっという間に時間が過ぎていた。

日本から 1 万 4000 キロ離れ、日本の 37 倍の面積を持ち、地球上の 90 % の氷で覆われた、人工物が皆無の世界。夏の平均気温はマイナス 1 度、冬の平均気温はマイナス 20 度、過去の最低気温はマイナス 45.3 度にも及ぶ。厳しい生活の中で、求められるのは極限まで徹底したエコライフだ。食料を運べるのは年に一度だけ。フードロスの対策、ごみの制約（生ごみは乾燥させて対処）、排水の制約など徹底した管理が要求される。そのような環境下で、「普段の食事がいかに大切か」「食えることがモチベーションに与える影響」「食えることで生まれるコミュニケーション」など食事がいかにメンタルに直結するかの気づきがあったそうだ。昨今の地球温暖化は、深刻で人命を脅かす状況だ。エコは地球環境と資源を守るための取組として今後益々重要になるだろう。日常の生活の中で我々一人一人ができること、渡貫氏の講演から大きなヒントをいただいた。

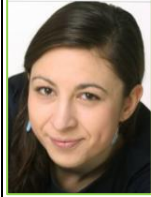
広報委員会 白岩 葉子



■自主語学講座

♥国際理解・国際交流、ユネスコ運動推進として活動しております。

♥参加者随時募集中。 問合・申込：事前に協会メール宛 (Email: meguro@unesco.or.jp)

中国語（初中級）	フランス語（中級）	ドイツ語（初級）
 黄 愛華先生 緑ヶ丘文化会館 金:10:00～11:30	 伊藤クロード・ アンヌ先生 ZOOM クラス 火:15:30～17:00	 イザベル・ゴイ先生 緑が丘文化会館 水:10:15～11:45
山西省ご出身の黄先生はテキスト通りの受け身の授業ではなく、テキストをもとに学習者自ら作成したオリジナル会話文発表を通して、より具体的な文法説明や発音修正をしてくださるなど、「使える中国語」が楽しく身につく授業です。 担当:菱田 秀子	アルザス出身で、明るく親しみやすい先生のもと、とてもアットホームなクラスです。ZOOM の機能を活用し充実した復習も可能で、オンライン教材も多用した新しいレッスン形式を皆で模索しながら楽しんでいます。 担当:雲野 右子	授業もテキストも共にドイツ語ですが、アーヘンご出身のゴイ先生は時に英語も使って初級者にもわかりやすく説明して下さいます。基礎だけは学んだことがある、もう一度学び直したいと思われる方、どうぞお気軽にお問い合わせください。 担当:菱田 秀子
イタリア語（初中級）	イタリア語（初級）	英語（初中級）
 シモーナ・ マリアーニ先生 緑が丘文化会館 木:13:20～14:50	 ピエトロ・ メルリーノ先生 緑が丘文化会館 土:10:00～11:30	 ジェフ・モーエン先生 目黒区民センター 社会教育館 木:10:00～11:30
基本的に授業は、すべて平易なイタリア語で進行。アブルッツォ出身のシモーナ先生は、すでに20年以上日本でイタリア語を教えるベテラン講師です。いつも素敵なおイタリアン・ファッションに身を包み、私達を楽しませてくれます。 担当:和田 広美	昨年秋からの受託講座の後、1月から自主講座になりましたが、参加者はほとんど変わらず。ナポリ出身のピエトロ先生は日本語が堪能で、初級の方々の質問にもきちんと答えて下さり、またテキストにはないイタリアの文化や日常の話も笑いを交えながら教えて下さいます。 担当:宮城 典子	ジェフ先生の楽しく軽妙な授業は、身近なトピックスを題材に英語独特のセンスや異文化の習慣、会話のマナーなども教えて頂きます。黒板や ホワイトボードを使って、時にはイラストを交えたとてもわかりやすいレッスンに、参加者は毎回90分間自然と引き込まれます。 担当:谷澤 真知子

TEA TIME



佐渡に鹿は生息していない、ということで佐渡の最高峰・金北山(1172m)では、多様な山野草は食害を受けることなく咲き乱れる。うす紫の大きな花を咲かせるシラネアオイの群生に会いたくて、5月中旬に訪れた。さすがの「花の百名山」。花々に囲まれた登山道は、急坂の疲れを忘れさせてくれた。美しい自然と対照的なのは、山頂の神社の側に残存する自衛隊の建造物とすぐ隣の妙見山に新設されているレーダーサイトの建造物。佐渡は外交・国防上の重要地点でもあった。 広報委員会 鈴木 やよい

日本語教育事業

★「初めて習う日本語」

2025年9月9日(火)～12月9日(火) 全26回
 毎火・木曜日(9月23日は休み) 午前10時～12時
 会場:中央町社会教育館
 対象:初めて日本語を習う16歳以上の方 20名
 参加費:2500円(テキスト代として)、保育あり
 申込期間:8月4日～25日先着順
 申込方法:目黒ユネスコ協会HPに掲載の申込書使用
 詳細は7月16日以降目黒協HPに掲載

▲「目黒ユネスコ日本語教室」2025年秋期

日程:＊朝コース 2025年9月9日(火)～12月11日(木)
 毎週火・木曜日(9月23日は休み)午前10時～11時45分 全27回
 ＊土曜コース2025年9月13日(土)～12月1日(土)
 毎週土曜日午前10時～11時45分 全14回
 会場:めぐろ学校サポートセンター
 対象:16歳以上の初級日本語学習希望者各クラス8名
 参加費:朝コース 8,100円 土曜コース 4,200円
 他にテキスト代
 申込開始:8月16日以降先着順
 申込方法:目黒ユネスコ協会HPの申込書を使用
 詳細は、7月31日以降目黒協HPに掲載

●A)関東ブロックユネスコ活動研究会 in 埼玉

2025年9月27日(土)深谷市民文化会館

●B)第81回日本ユネスコ運動全国大会 in 金沢

2025年10月18日(土)石川県立音楽堂方角ホール

「日常・能登半島の創造的復興を目指して」

A・B＊参加希望者は詳細案内&申込書が事務局にあります。申込・問合せ 事務局(宮城)まで。

9月以降の予定

★委託語学講座2言語

英語・中国語(10/1～1/28) **区報 9/1**

★文化講座①「ユネスコ無形文化遺産を目指す書道(仮題)」

11/30・講師:書家/石川青邱氏 **区報 11/1**

★文化講座②「平山郁夫-仏教伝来と旅の軌跡」

1/25 講師:大塚裕一氏 **区報 12/15**

▲目黒ユネスコ美術展 11/19～24

★青少年フェスタ /会場:目黒ユ協美術展会場

★サイエンス教室 ①11/15 東京科学大学出前授業

②11/29 ロボットプログラミング

ランチ会 爲季前会長を囲む会

日時:2025年9月2日火曜 12:00～

会場:代官山花壇、参加費:5,000円

申込:meguro@unesco.or.jp

締切:8/15 ♡同窓会員の交流会です。

♡大勢の皆様のご参加お待ちしております。
 担当:大前真理子

■新入会員 どうぞよろしく (敬称略)
 田中なつみ 菅生 寿子

◇会員募集中◇ 趣旨に賛同される方の入会
 を歓迎いたします。問合せ:事務局(宮城)迄。

【7月以降の予定】■7/23(水)発送連絡会

■事務局夏休み:7/24～8/27

■自主語学教室6講座(仏・英・独・伊2・中)



■目黒ユネスコ協会主催
 ●目黒ユ協会の関連機関・団体との協力事業
 ▲目黒ユ協会の関連機関・団体との共催事業
 ★目黒教育委員会からの受託事業



編集後記

5月下旬、神代植物園温室で、インドネシア・スマトラ島原産の絶滅危惧種・ショクダイオオコンニャク(写真左)の開花がまもなく、という情報を得て、何度か足を運んだ。開花は3年から7年に一度と言われ、開花期間は2日間。開花当日には、ギネスブックに「世界一臭い植物」として登録されるほどの強烈な臭いを放って、昆虫を引き寄せる。当植物園では2007年から栽培を始め、今回で6回目の開花だという。今回の開花は6月3日、夜間公開が実施された。私は翌日に見に行ったが、やはり強烈なはずの匂いはすでに消えており、次回こそはと思っている。 鈴木やよい